

来賓祝辞

富山県知事 新田 八朗 氏

麦野英順、塩井保彦両代表幹事をはじめ歴代役員並びに会員の皆様、そして多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、富山経済同友会創立60周年記念式典が盛大に開催されますことを、心からお喜び、お祝い申しあげたいと存じます。

そして、先ほど黙祷を捧げさせていただきましたが、物故会員の方々をはじめ、この60年の歴史を紡いでこられた皆様方に心から敬意を表したいと存じます。

本日はこのように新型コロナ感染症対策をしっかり施していただいで開催いただきました。また、あわせて今ほどは現場の第一線でコロナと戦われている医療従事者の皆様に役立ててほしいということで、多額の寄付をいただきました。富山県で開設しております新型コロナウイルス感染症対策応援基金に受け入れさせていただきました、ご趣旨に沿った使い方をさせていただきましたと存じます。

さて、1961年の発足以来、富山経済同友会は富山県の産業そして経済の発展、高度化、また地域活性化に多大な足跡を残してこられました。

また、本日は後ほど、「富山経済同友会SDGs宣言」を表明されると聞いております。より一層地域との連携を強められ、企業としての社会的責任を果たす中で、持続可能な社会にますます貢献されますことを心から期待いたします。

コロナ感染症は再び拡大の兆しを見せておりますが、県民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先課題としてこの危機を乗り越えなければなりません。その一方で、ビヨンドコロナの時代を見据え、県民の皆様そして県内企業の皆様と「ワンチーム」となって、富山県の成長戦略を描き、さらに富山県の未来の姿を描き、その実現に向けて頑張ってください。

私も、長くこの会でお世話になったものとして、少しだけ個人的な感想を述べることをご容赦願います。麦野代表幹事からもお話がありました課外授業が記憶に残っております。経済人が教壇に立つことはとてもチャレンジなことであったと思います。私も何度も受け持たせていただきました。ワクワクすると同時にドキドキしながら子どもたちと向かい合ったことを思い出します。その度にフェイスブックにもアップしておりましたので、我ながら良い経験だったと思います。また、この会の海外視察は準備が入念になされ、クオリティが高いものであったと記憶しております。今は実行ができませんが、再開されて時間が許せば、参加させていただければ大変ありがたく存じます。

本日の創立60周年を契機に、会員の皆様により一層結束を固められ、引き続き本県経済の発展、そして社会課題の解決にますますご尽力いただくことを心から祈念いたしますとともに、チャンスがあり、夢をかなえることができ、ワクワクする富山県を、富山市の藤井市長と連携し、富山経済同友会の皆様とともに目指していくことをお誓いしたいと存じます。

終わりに、富山経済同友会のますますのご発展、会員企業のますますのご成長、会員の皆様のお一人お一人のご健勝を心からお祈り申し上げます。本日はコロナ禍ということで、残念ながら祝賀会を開催することはできません。しかし人間はイメージができる動物です。素晴らしいお料理、素晴らしい飲み物、そして素晴らしい仲間たちを想像しながら、それぞれ心の中で大いに、盛大に、大声をだしてお祝いをしていただければと存じます。本日は本当におめでとうございます。